

# 水害シンポジウム

頻発する水害を考える ～防災、そして減災へ～

近年においても、全国各地で河川の氾濫による水害が発生しています。特に、全国的に市街化が進み、農地や森林だった地域が宅地へと開発され、保水・遊水機能が低下し、雨水が河川に排水できないなどのために浸水する「内水氾濫」が、その水害に拍車をかけています。

地下街など地下空間を利用した施設が多く、国民の資産が集中している都市における新たな水害の増加は深刻です。この「水害」の被害を軽減するための取り組みが早急に求められています。

今、国土交通省は都市水害対策に新法を検討しています。国などが著しい浸水被害の発生する恐れがある都市河川を指定し、浸水被害対策の計画づくりを行うほか、浸水に対するハード整備や、現時点の施設で浸水が予想される地域の公表や地下街の対策などのソフト対策も盛り込んでいます。

このシンポジウムでは、深刻化する水害を検証し、官民上げて取り組まなければならない施策や対策、今後解決すべき課題などを討論していきます。

## プログラム

13:00	開場／受付
13:30	開会／主催者挨拶
13:40	基調講演 「都市水害の危機管理」 廣井 脩 (東京大学社会情報研究所教授)
14:10	休憩
14:20	パネルディスカッション 「頻発する水害を考える」 ○パネリスト 廣井 脩 (東京大学社会情報研究所教授) 宮村 忠 (関東学院大学工学部教授) 星野 知子 (女優・エッセイスト) 木村 拓郎 (社会安全研究所所長) 鈴木 藤一郎 (国土交通省河川局長) ○コーディネーター 藤吉 洋一郎 (大妻女子大学教授／NHK解説委員)
16:20	終了予定

## 応募方法

●下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送りいただくか、同事項をご記入の上e-mailまたはハガキにてお申込みください。5月12日までに参加証を送らせていただきます。(応募者多数の場合は先着とさせていただきます。)

●参加費無料

●申込締切 5月9日(金)

## 申込・お問合わせ先

●シンポジウム参加申込受付

FAX 03-5468-0557

e-mail SUIGAI-jimukyoku@mpc-inc.co.jp

郵送 〒107-0062 東京都港区南青山5-9-15 共同ビル新青山8F

水害シンポジウム参加登録事務局宛

お問合わせ先電話番号 03-5468-0569 (平日10:00～18:00)

## 申込書

参加申込にはお名前での登録が必要です。複数でお申込みの場合はコピーをおとりいただくか、別紙に同事項をご記入の上、お申込みください。

お名前(ふりがな)

勤務先

部署名

役職

ご住所 〒

お電話番号

FAX番号

E-mail

(アドレスをお持ちの方は、ご記入ください。)

## 出演者プロフィール

### ■基調講演・パネリスト

廣井 脩 (ひろい・おさむ)

東京大学社会情報研究所教授

東京大学新聞研究所助教授、東京大学社会情報研究所教授、同社会情報研究所長を経て、今年4月より現職。専門は、災害社会学。地震、津波、火山噴火、台風、集中豪雨など、自然災害における人間行動や、警報・避難勧告など災害情報の調査研究を行ってきた。わが国ばかりでなく、諸外国における災害調査も少なくない。主な著書に『災害と日本人』『うわさと誤報の社会心理』などがある。



### ■パネリスト

宮村 忠 (みやむら・ただし)

関東学院大学工学部教授

河川工学を専門とする。「水害一治水と水防の知恵」、「くらしに生きる川」、「相模川物語」など川にまつわる著書を多く執筆している。また、2001年3月、15年間に渡って日本の川を語ってきた「宮村河川」を終章。仲間と続けている「利根川研修旅行会」はすでに30回を超え、同じく海外河川研修は28回を超えた。



星野 知子 (ほしの・ともこ)

女優・エッセイスト

NHK連続テレビ小説「なっちゃんの写真館」で主演デビュー。その後、「ミュージックフェア」の司会や「ニュースシャトル」のキャスターなども務め、多方面に渡って活躍。また、ドキュメンタリー番組への出演も多くアマゾンやベルー、シベリアといった秘境も含め世界40カ国以上を歴訪している。現在、NHK-BS2「週刊ブックレビュー」に司会者としてレギュラー出演中。近著に「ハリと七つの美術館」がある。



木村 拓郎 (きむら・たくろう)

社会安全研究所所長

これまでに発生した震災や火山災害などの調査をもとに、関東地域を始め各都市の防災計画策定に従事。1992～94年には、島原に滞在して雲仙普賢岳噴火災害の復興計画策定に、また、1995年には神戸市、2000年には有珠山噴火災害の復興計画策定にも参画。最近は、災害時の人的被害の軽減対策と避難生活問題に力を入れている。



鈴木 藤一郎 (すずき・とういちろう)

国土交通省河川局長

1972年4月建設省入省。その後、河川局開発課、河川計画課など主に河川畑を歩く一方、大臣官房技術調査室長、建設経済局技術調査官、国土交通省土地・水資源局水資源部長、近畿地方整備局長などを歴任。2002年7月より現職。水資源部長時は2003年の世界水フォーラムで併催された閣僚会議の担当部長として尽力。



### ■コーディネーター

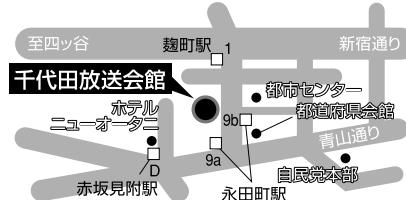
藤吉 洋一郎 (ふじよし・よういちろう)

大妻女子大学教授／NHK解説委員

日本放送協会に記者として入局。社会部記者を経て、1991年より解説委員を務め、気象災害、環境問題、ダム建設・河川整備のテーマを担当する。現在は、大妻女子大学文学部コミュニケーション文化学科教授として、メディア・コミュニケーションを担当し、防災放送に必要な情報伝達の基礎から、将来の可能性について幅広く取り上げ研究している。



## 会場案内



### 交通のご案内

□地下鉄・南北線、半蔵門線、有楽町線  
「永田町駅」(9a番、9b番出口)より徒歩3分

□地下鉄・有楽町線  
「麹町駅」(1番出口)より徒歩5分

□地下鉄・丸の内線、銀座線  
「赤坂見附駅」(D出口)より徒歩9分